

人間を探し求められる神

2014年9月5日

アシェル・イントレータ



聖書の最初の方で、アダムとエバが罪を犯した直後、神さまは、そのわがままな被造物である人を探し求め、地上に来られたことを見ることができます。

創世記 3:9 – 神である主は、人に呼びかけ、彼に仰せられた。「あなたは、どこにいるのか。」

アダムとエバが罪を犯したとき、彼らは神さまに対して背を向けました、つまり神さまを裏切り、神さまを避け、神さまに対して否定的な思いを抱き、もう会いたくないと思ったのです。それでも神さまは全ての障害を乗り越え、積極的に解決を図りました。良い羊飼いは、迷った羊を探すために、全ての羊をおいておくのです（ルカ 15:4）。

イエシュア（イエスさま）の地上での使命は、神さまが人間とコンタクトを取ることを探求し続けることだったのです。

ルカ 19:10 – 人の子は、失われた人を探して救うために来たのです。」

私は以前、私が神を探していて、またある意味において神は御自身を隠され、皆が神を探し出すようにされていると思っていました（使徒 17:27）。しかしだんだんと、神さまの方が、私を探し出してきていたということが分かってきました。私は完全に自己中心に陥っており、私の神に対する全ての拒絶にも関わらず、神さまは私を求めてくださったのです。

第2テモテ 1:17 – (オネシポロは) ローマに着いたときには、熱心に私を探して見つけ出してくれたのです。

愛は他を求めることです。愛は絆を設けるために障壁を砕きます。愛は、その対象を求めるためには、その居場所から外へ出て行こうとするほど活動的です。「絆を結ぶ努力」が必要です。愛は、人が絆を結んでくれるのを受動的に待ちはず、その対象が見つかるまで、地道に探し続けます。私たちは、たとえ相手が私たちの絆づくりの努力を拒否していても、探し求めることを止めません。

トンネルと言えば



過去何ヶ月かの間に、ガザでハマスの「恐怖のトンネル」は有名になりましたが、イスラエルも自身のトンネルを作りました。これらのトンネルは武器の輸送に使われるわけではなく、人間の輸送に、それもエルサレムーテルアビブ間の高速鉄道システムの一部として建設され、同区間を 28 分で結ぶと見られています。

22 ヶ月間の工事の末、路線中の最長距離のトンネルが完成しました。同トンネルはメヴァセレット・シオンとナハル・イットラー間の計 11.6km をカバーします。全ての計画が完成した暁には、年間 400 万人の乗客を輸送すると見られています。

別の大事業として、ユダヤの山々を抜けエルサレムへと続く曲がりくねった国道が、橋やトンネルとともに、拡幅グレードアップ工事が行なわれます。この新しい国道は、エルサレムーテルアビブ回廊の経済への変換効果が期待されています。

テルアビブでの動き

ベティ・イントレータ



アシェルと私は、エルサレム（エディー&ジャッキー・サントロのアハヴァット・イエシュア）とテルアビブ（ロン&エラナ・カンターのティフェレット・イエシュア）の、2 つの姉妹コングリゲーション（集会）で奉仕しています。今月ティフェレット・イエシュアでは色々な「動き」があります。

- 「反メシアニック」の正統派ユダヤ教徒たちが、毎週戸口にまで来て信仰を捨ててコングリゲーションから去るように説得しにきます。信じたばかりの人たちが守られるようにお祈りください。

- 最近の戦争中に行なっていた礼拝で、最後の祈りを捧げている時、さらに主を受入れる祈りをしている最中に、ミサイル警報のサイレンが鳴り出しました。
- 60代のイスラエル生まれの実業家が主を受入れました。今週、彼が証しをしました。彼は信仰のことを娘（高学歴の物理学者）に伝えることをためらっていましたが、彼女から電話があり、（その信仰のことを知らずに）「お父さん、今週不思議なことがあったの、夢でイエシュアが現れ、話をしてきたの」と言ってきたのでした。
- ある若い独身女性は、いとこ（信者）がプールへ行ったときのことをシェアしました。彼がトイレ行くためその幼い子供から離れ、戻ってきた時にその子供の姿が見えませんでした。プールの中を見ると子供は水の中でうつ伏せになっているのを見つけ、飛び込んですぐに水から上げましたが、既に事切れていました。大きな声で「イエシュア、憐れんでください！」と叫び心臓マッサージをしたところ、その幼児は水を吐き、呼吸をし始めたのです。救急隊が病院まで搬送しました。医師たちは子供が元気なのを見て驚き、なぜ助かったのか理解できませんでした。
- 重度の拒食症と診断された若い女性は、何回目かの来会で、私たちのところへ癒しを求めて来ました。彼女に油を塗り、悪霊に立ち去るように命令したところ、彼女にとって初めて、生きたいと宣言することができました。彼女の完全な回復のためお祈りください。
- メシアニックである兵士で、最近のガザ戦争で戦死したシャイ・クシュネルの母親が、私たちとともに礼拝に参加しました。（彼女の娘がCongregationの会員。）祈りの中で彼女への大きな、愛と憐れみの油注ぎがありました。
- 「未」信者がCongregationを来訪する着実な流れがあり、その他にメシアニック家族の子女で長らく離れていた青年層が帰ってくるという新しい波もあります。

どうぞ、エルサレムとテルアビブの、私たちの2つのCongregationへの信仰、祈り、経済のパートナーとして、ともに立ち上がってください。

ヨシタカ、福島県知事へ

アリエル・ブルメンソール



多くの方が、日本東北地方の津波の日々から、私たちの兄弟でパートナーである五十嵐義隆（イカピー）を思い出してくれると思います。第1原子炉からの放射能漏れは今も、その地域の全てを苦しめています。それでも希望はあるのでしょうか？イカピーはついに、200万人の住民をその中に含んでいる県の知事に立候補しました。投票日は10月26日です。以下のことについて祈りが必要です。

- 勝利に導く選挙活動のため必要な経済、パートナー、多くのボランティア参加者が集まるように。
- 選挙活動のため各地を廻ります。一家の長である彼自身と家族（妻と3人の小さな子供たち）が守られますように。

彼とそのメッセージが進むところどこでも、福島が、日本が、希望を持つように、そしてこのことが神の御国の前に日本を変えていくことの一つの流れとなるように、信じていきましょう。